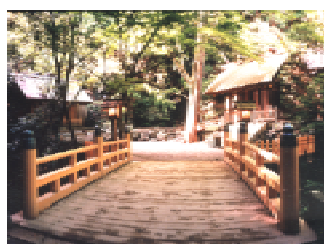


桑名市観光振興プラン (概要版)

平成18年3月 桑名市

はじめに



平成16年12月6日に、旧桑名市・多度町・長島町が合併して誕生した新桑名市は、三重県の北部に位置する人口約14万人の市であります。



新しい市の基本理念に「水と緑と歴史が育む豊かな快適交流文化都市」を掲げ、豊かな自然や先人から受け継いできた伝統・文化・産業などの財産を、さらに魅力的なものとしていくため、市民の皆さんの参加と協力による、地域の一体感あふれるまちづくりを推進しております。



さて、本市は、それぞれの市町の財産であった、七里の渡しに代表される東海道や国の重要文化財である六華苑、多度まつりや流鏑馬まつりで知られる多度大社、全国的にも有名な総合レジャー施設である長島温泉、そして木曾三川の雄大な流れや焼き蛤に代表される食文化など、豊富な観光資源を有しております。



観光立国が我が国の重要施策として位置づけられ、産業としての観光への注目がますます増大しております。昨今、本市といえども「おもてなしの心」「観光する心(心が通じれば対話が生まれる)」という観光の原点に立ち返るとともに、従来の観光の概念にとらわれることなく、新たな観光の創造に取り組んでまいりため、このたび『桑名市観光振興プラン』を策定したところであります。



今回のプランでは、「川と街道が織りなす交流文化都市・桑名」を本市観光振興のコンセプトとして、その実現に向けて全力で取り組んでまいりたいと考えております。

皆さんの一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

桑名市長 水谷 元

1.旧桑名・多度・長島の特色ある自然・歴史・文化・産業の連携による観光交流の活性化を

全国的にも誇れる「水と緑」に恵まれたまち・桑名

桑名市は、北に鈴鹿・養老の山脈、東に濃尾平野を控え、揖斐・長良・木曾の三川が伊勢湾に注ぐ河口部に位置し、恵み豊かな里山の緑と伸びやかな大河の流れに囲まれた地域であり、水と緑に恵まれた桑名市は全国的にも誇れる地域である。

3市町合併によって豊富な観光資源を有する県内最大の観光都市に

平成16年12月に旧桑名市・多度町・長島町が合併したことによって、七里の渡しに代表される東海道や国の重要文化財である六華苑、多度まつりや流鏑馬まつりで知られる多度大社、全国的にも有名な総合レジャー施設である長島温泉、そして木曾三川の雄大な流れや焼き蛤に代表される食文化など、それぞれが特色のある、多様な魅力あふれる新桑名市となった。また、平成16年の観光客数は約712万人と、伊勢市の約696万人を上回り、県内最大の観光都市となった。

桑名市民の誇りを核とした観光交流

観光は「まちづくりの総仕上げ」ともいわれている。地域に暮らす人々が守り、育んできた地域の「光＝宝、誇り」を訪れた方に「観せる」(あるいは他のまちを「観る」)という意味がある。桑名の観光は桑名市民が誇りに思う自然や文化、景観、お祭りなどの「わがまちの誇り」を核とした観光交流を図ることが重要である。

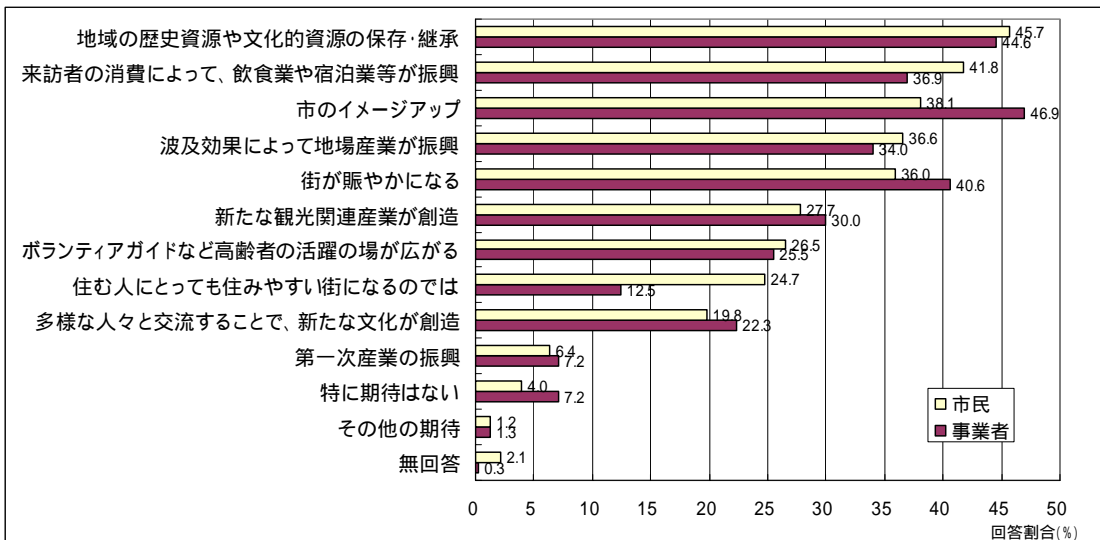
産業間連携による地域の活性化を

新生・桑名市を形づくる旧3市町は、それぞれに特色のある産業を有している。こうした産業を観光交流のための資源・素材として活かすことにより、観光振興の効果を市内全体で共有することができる。また、これまでにはなかった新しい魅力、新たな桑名のブランドが生まれることにも大きな期待がかかる。

観光振興による「歴史文化資源の保存継承」「経済効果」「市のイメージアップ」への高い期待(桑名市民、事業者アンケートより)

本計画の策定に当たって、桑名市民および桑名の事業者の方々に対してアンケート調査を実施している。

その中で桑名の市民および事業者が「観光に対して期待すること」は住民・事業者ともに、「歴史文化資源の保存継承、観光産業および地場産業への経済効果、市のイメージアップ」を期待する声が多く見られた。



2. 「川と街道が織りなす交流文化都市・桑名」を目指して 戦略的な取り組みをスタート

コンセプトは「川と街道が織りなす交流文化都市・桑名」

桑名市においては、川と街道との関わりの中で過去から未来へと受け継がれる「交流文化」がまちの中核をなすものであり、これが観光振興において来訪者を惹きつける核となるものでもある。桑名市観光振興のコンセプトを『川と街道が織りなす交流文化都市・桑名』とし、さまざまな人々が集い楽しむまちづくり・観光地づくりを目指す。

【桑名市観光振興プランより / 「川と街道が織りなす交流文化都市・桑名」】

桑名市は、水辺の豊かな自然、多度山周辺の季節感あふれる緑と清流、長島の温泉といった絶好の環境を有している。そしてこの舞台の上で、東海道をはじめとする街道文化、木曾三川の大川が育ててきた舟運文化と暮らしの文化が多様な彩りを生んでいる。これだけの豊かな環境と多彩な文化は、全国的に見ても極めて恵まれていて誇れるものである。

多彩な桑名の文化を支えてきたのは、舟運と街道によりたくさんの人々が全国から桑名に集まる中で生まれたさまざまな交流であった。時は現代に移っても、こうした街道文化、川の文化、暮らしの文化は今なお息づいており、広域交通ネットワークの発達や長島温泉などの集客型レクリエーション施設の立地などにより、交流の文化はますます発展を遂げている。旧桑名市と長島・多度両町との合併は、いままで隣町同士だった地域の住民の間に、よりいっそう緊密な交流ももたらしている。

重点戦略と3つの支援戦略による戦略的な施策の展開

桑名市の観光振興のコンセプト「川と街道が織りなす交流文化都市・桑名」の実現のために、以下の4つの基本戦略を展開する。4つの基本戦略は、核となる重点戦略と、これと連動あるいは重点戦略を活用して展開する支援戦略とに分けられる。

重点戦略「川と街道の文化にふれるにぎわいの舞台環境づくり」

桑名市には、長島温泉・なばなの里と多度大社、桑名の旧城下や東海道、あるいは多度山と多度門前の町、長島のまちと長島川など観光における核となる資源が存在する。

こうした資源を連携させ、桑名市全体での滞在を促すために、地域の成り立ちと風景の核となる木曾三川での舟運、サイクリングコース、ウォーキングコース、鉄道などを活用したネットワーク化、集客拠点でのもてなし拠点、情報サテライトなどの整備、川辺の景観づくりを進める。

【具体的な施策（抜粋）】

舟運の拠点づくりに向けた七里の渡し跡(住吉浦)周辺の基盤環境整備(国営公園事業との連携) / トイレ、駐車場、まち歩き情報など
 国営木曾三川公園との舟運ネットワークの形成(舟運事業の展開)
 川について学ぶとともに川を活用した観光拠点づくり
 桑名市街・多度大社周辺での街道歩きコースやマップの作成
 長島駅周辺や国道1号線沿いでの「湯のまち・長島」の環境整備
 『川と街道のまち・桑名』の風景づくり



支援戦略1 「川と街道の魅力にふれる桑名ならではの

観光スタイルの提案」

重点戦略である舞台環境づくりと連携しながら「川と街道」をテーマにした観光の商品化に向けた試験的な取り組み・提案を進める。

【具体的な施策（抜粋）】

- 観光関係者、市民参加による地域資源の見学・お宝探し
- 川と街道の文化を活かした特色あるテーマ観光の展開
- ・観光事業者・旅行会社等が連携した「川と街道」をテーマにした地域資源の掘り起こし・ストーリー化（観光商品化）の検討
- ・「川と街道」テーマとしたモデルツアーの実施
（舟運モデルツアー、街道歩きモデルツアーなど）
- まちをめぐる特色ある移動の楽しみ方の提供
- ・鉄道、レンタサイクルなど様々な交通手段を使ったまちめぐりのコースづくり
- 桑名らしい体験観光・産業観光の展開



支援戦略2 「『川と街道のまち・桑名』の情報発信」

旧3市町の特色と「川と街道」のイメージを重ね合わせた桑名の新しいイメージづくりと発信や市民の誇りを育み、同時に観光への理解を促進する取り組みを進める。

【具体的な施策（抜粋）】

- 『川と街道のまち・桑名』からの情報発信
- ・市民によるシンボル風景写真コンテストなどによる市民意識の醸成
- 情報提供とおもてなしの拠点づくり
- ・既存施設・宿泊施設での情報拠点の設置と統一した情報提供
- 目的に応じて楽しむための観光情報の集約と提供
- ・桑名市街・多度・長島の観光情報の集約
- ・統一した観光情報ツールづくり（パンフレットなど）
- ・「川」「街道」「産業観光」「歴史文化のまちあるき」
「環境学習（エコ・ツアー）」といったテーマ別の情報整理
- 桑名らしい体験観光・産業観光の展開
- ・漁業体験や製造業体験など、桑名らしい産業観光（体験）の一層の推進（子どもふるさと体験、大人の社会見学など）



支援戦略3 「まちの魅力を伝えるおもてなしの体制づくり」

市民を含めたおもてなしの研修等を通じ、観光に対する理解を深めるとともに、観光・まちづくり関係者が協議・連携して取り組める場づくり、国・県・近隣市町村等、県域・市域を超えた広域連携を進める。

【具体的な施策（抜粋）】

- 桑名・おもてなし人の育成
- ・観光関係者、市民を対象とした「観光まちづくりシンポジウム」の開催
- ・おもてなしハンドブックの作成・配布
- 民間主体による観光・まちづくりの連携体制づくり
- ・まちづくりや観光関係の諸団体が集まる連絡・協議の場の設置（協議会の設立など）
- 行政内の横断的なプロジェクト推進体制づくり
- 県と連携したデスティネーションキャンペーンの検討
- 県域・市域を超えた近隣市町村との連携強化

平成18年3月 発行：桑名市 編集：産業振興部 観光課

〒511-8601 桑名市中央町 2-37 TEL 0594-24-1231 / FAX 0594-24-1140

<http://www.city.kuwana.mie.jp> E-mail : kankom@city.kuwana.lg.jp